

令和8年度 校内研究について

Ⅰ 校内研究全体テーマ

子どもの学びがつながる授業づくり
～教科の視点で捉えた年間指導計画と単元計画シートの
活用を目指して～

2 今年度の研究について

昨年度から3年計画で本研究に取り組んでいる。昨年度は、グループ（学部を解いたメンバー）内で年間指導計画を持ち寄り、縦の学びのつながりを共有した上で、一人1枚『単元計画シート』を作成した。作成の過程では、教師同士が学部を超えて授業内容を整理・共有し、授業改善について話し合う機会を設けることができた。

今年度は研究2年目として『単元計画シート』の理解と活用をさらに深める。また、蓄積されたシートを活用し、子どもの学びが継続してつながるよう、教務部と連携しながら進めていくことにした。

3 研究の進め方

年間通してグループ（学部を解いたメンバー）を固定する。グループ研究会では、一人1枚単元計画シートの作成し、授業参観月間を利用し、同じグループの授業を見に行き、グループ内の子どもたちの様子を見取りながら、単元計画シートについて共有し合う。単元終了後のグループ研究会の場で、目標設定、授業の流れ、手立て、特に評価規準について確認し、子どもたちの学びがどうだったか話し合う。

全体研究会では、校内研究の進め方についての話、夏季休業中の全体研究会では、小中高の縦のつながりを検討した単元計画シートの作成に向けて話し合いを行う。今年度の子どもの学びを踏まえて、次年度の年間指導計画を作成する。

- (1) 全体研究会(年3回)・・・①研究の概要説明 ②縦のつながりを検討した単元計画を協議・検討
③実践発表・共有等
- (2) グループ別研究会(年6回)・・・単元計画シートの作成・報告、シートの改善、年間指導計画の作成
- (3) 見に行こう強化月間(年2回)・・・グループ内の授業を参観する。
- (4) 研究のまとめ(あかり)・・・年度末に研究のまとめを「あかり」にまとめる。